

恵の聖母の家 園内報

# ルルドの丘

2016

6月

No.35



社会福祉法人 聖母の騎士会

恵の聖母の家 医療型障害児入所施設・療養介護

児童発達支援センターめぐみ

相談支援事業所こころ

訪問看護あんな

▼「みことば」では聖書等の御言葉をお伝えします。 ▼「きらりん」では皆様の活動をお知らせします。

# みことば

最高の仕事。

それは愛をもって

ごくありきたりな仕事を

心をこめて最高に楽しんで行うことです。

(マザー・テレサ 愛の言葉)

## きらりん★ 音楽療法

これまで、この「きらりん」では様々な療育活動を紹介してきました。当課では、グループ活動が定着するまでは、最も障害の重い超重症児者・準超重症児者の療育活動をどうしたらよいか。参加しているグループ活動が本当にあっているのだろうか。自己表現できるプログラムを提供できているのだろうか、という疑問にぶつかっていました。

そんな中、2007年大分合同新聞に大分市社会福祉協議会「音楽療法士派遣」の記事を見つけました。早速、音楽療法士にお話をお聞きして、音楽療法の導入を決めました。あれから9年。現在、音楽療法士と個人契約をしている利用者の方々が集団または個別の音楽療法を月に1回受けています。活動に共に参加する中で、音楽は単に聴くだけでなく重症児（者）らが感じ取れるものを多く含んでいるなあと感じました。音楽療法士の声で、活動を認識し、直前に覚醒する人、童謡の歌声に魅了されている人、楽器の音の変化に敏感な人、リズムカルな演奏を好む人、期待感が表情に満ち溢れている人、微細な動きで表現しているなど、様々な姿がセッション中に見られています。

体調に左右されることもありますが、音楽の力と人との関わりの媒介により、非言語表現（表情、身振り、手振り）による自己表現できる力を育むことができていると感じています。

生活福祉課主任 保育士 倉本 恵子



※表紙写真はあゆみの広場のホールで行われた支援学校訪問教室入学式の様子です。

# 巻頭言

施設長 佐藤 圭右

「ローリングベッド(有期限入所)」という言葉をご存知でしょうか? 自分が初めて聞いたのは、もう一〇年以上前でしようか、毛呂病院光の家療育センターの鈴木郁子先生のお話だったと思います。その当時の自分は、数少ない入所のベッドを在宅の重症児者数人で分け合うものだ、という程度の理解でした。

例えば、一床の入所ベッドを在宅の重症児者六人で分け合うとします。さて、分け合うとは? つまり、一人、一か月間だけ入所します。すると、六人ですから、一年間に一か月間の入所を二回利用することができるんですね。例えば、二月と八月は恵の聖母の家で入所、あとは在宅、というような利用です。ショートステイとは異なり、あらかじめ年間計画をきちんと立てることが可能になります。

☆ ☆  
今回、日本重症心身障害福祉協会全国施設協議会が大阪でありました。その中で、主催施設の堺市立重症心身障害者(児)支援センターの児玉和夫先生によって「これからの挑戦」と題されたシンポジウムが開かれました。そこに、くまもと江津湖療育医療センターの興梠ひで先生が「ローリングベッドを実践してみて」と報告されました。

ショートステイ(短期入所)と何が違うのか? とは当然出される質問です。ショートステイを一か月利用するのとローリングベッドの一か月の違いは? 以前の自分はその違いがよく分かっていませんでした。しかし、今ははっきりとその違いが説明できます。

それは、「個別支援計画」です。施設を利用される方々が、どういう過ごし方を施設で行うか、それを示した計画があるかないかです。

ショートステイとは、あくまで短期であり、一般的には二、三日間の利用が想定されています。そして、それはあまり計画的ではなく、ご家族などのご都合に合わせて利用されることが多いようです。ですので、そのようなご利用に合わせて「個別支援計画」を立てたところで実行するのは難しく、結局のところ、お預かりに終始することが多くなります。また、本来、ショートステイにはお預かり以上の療育などの機能は求められていないようです。

しかし一か月間であっても、またそれが有期限であっても、入所であれば、当然「個別支援計画」は求められます。例えばその目的が、「安楽に座って食事をする」、であれば、座位保持装置の検討から、座位保持姿勢の維持のためのリハビリテーション、

場合によってはその姿勢での嚥下状態の検討のためのX線テレビ(嚥下造影)検査など、お預かり以上のものが当然求められます。ですので、ショートステイとの違いは明らかです。

現在、在宅と入所の間にはいろいろな試みがなされようとしています。ローリングベッドも一か月間の入所体験です。言わば施設へのホームステイです。利用者さんは施設への入所体験、ご家族はお子さんと一か月間離れて生活する体験を味わうことになるでしょう(しかし、毎日面会に来られる方も少なくないそうです)。それ以外にも、グループホームの試みも久山療育園重症児者医療療育センターの宮崎信義先生から報告されました。

ただ、このような有期限入所は制度的には在宅でなく入所ですから、例えば児童であれば特別扶養手当はその間停止されますし、学校であれば転校の問題もあります。成人であれば生活介護は受けられなくなる、つまり、通い慣れたデイサービスを一か月間休まなくてはなりません。また、先方のデイサービスを一か月後には再度利用できるようにする調整が必要です。そのほか手続的にも複雑なところがあり、これを簡素にできるかどうかは、どの程度利用者がそのサービスを望まれるか、という熱意にかかっていると思います。

在宅から入所までの間の準備について、最新の知見を仕入れてきました! いいネタあります。自分、佐藤までご相談ください(笑)

▼写真は4月のお花見の様子です。





▼各部署の声です。今年度の目標は「共生」相手を丸ごと尊重する

## 新年度について



### 豊かな土壌に

副施設長 牧山 美鶴江

満三十二年目を迎えた恵の聖母の家は、樹に例えるとどのように成長したのでしょうか？

愛と希望と豊かな実りを願って創設者は植樹された事でしょう。代々受け継いだ私たちは、たわなに生い茂る枝に花を咲かせ、実をつけているのでしょうか？どんな大樹に成長しているのでしょうか。

この樹が育つ環境も、時と共に随分変化してきました。措置から契約制度への変化、在宅支援の強化等々、取り上げると枚挙にいとまがありません。あらゆる環境の変化の中に有っても、凛として揺るがない豊かな大樹を育てるには不変のものが必要です。それは、地中に深く張った根を生かす為の肥沃な土壌です。この土壌は、普段は目立つことなく大樹を見上げる人に踏まれ、意識されることも称賛を受けることもないでしょう。

しかし、土壌がその役割を果たさなくなれば忽ちに樹は立ち枯れに成り、樹の命さえも危い状況におかれます。土壌を肥沃に成すか、不毛にするか！この土壌こそが、私たち一人ひとりのモラル（倫理あるいは道徳）の意識で構成されていると思います。心身において助けを必要としている方々を世のひかりとして、大樹に育てるには、私たちが肥沃な土壌の中に張る根でなければなりません。カトリックの愛と奉仕の精神を基盤にした当施設だからこそであり、



そう有りたいと願っています。見方を変えれば豊かで肥沃な土壌に育つ根となる為に、「自分が職場を選んだのではなく、先に選ばれ用意されていた、そう考えると良い意味でのプライドと責任があるのではないのでしょうか。

根は、肥沃で豊かな土壌から十分な栄養を吸収し、地中に深く四方八方にしっかりと張って幹や枝葉を支え、成果の実をつけます。幹となる施設長、支える根は私たち、成果の実は助けを必要としている方々。最も豊かで幸福な実を結ぶ為、皆が共生し一つになり互いに幸福に当る。

このサイクルを支える肥沃な土壌作りを精進し、創設者が望まれた恵の聖母の家を目指していきましよう。

## 新年度について

### 総師長として

総看護師長 藤井 智恵

一九八八年に恵の聖母の家に就職して以来、二十八年があつという間に過ぎた気がしています。私の入職当初は恵の聖母の家は設立五周年を迎えて、まだ新しい施設でした。看護師の数も少なく、利用者の健康管理をするかたわら、保育士、看護助手と共に、療育に参加し、遊びや散歩、物づくりに励んでいたことを思い出します。利用者も若く、元気な頃でした。

その利用者も歳を重ね、医療処置が日常生活に入り込み、さらには医療の進歩に伴い、利用者自身の生活の質も向上し、最近では小さなお子様が人工呼吸器を装着して入所するようになり、看護師の需要があります。必要な現状があります。私たちは安全で安心な医療ケアを提供するために看護の質を高め、自分達の経験したことを次の世代に伝え、重症児看護を残して行かねばなりません。その中の一つに看取りの問題があります。

恵の聖母の家でも、ここ数年の内に残念ながら何例かの看取りを経験しました。悪性腫瘍、あるいは高齢化により選択的医療を進めるのか否か、重症児者の代弁者でもある私達がどう受け止めて行くのか、今後の課題でもあります。また、二〇二五年問題<sup>①</sup>を考えると、入所ばかりでなく在宅で暮らす人達、地域にも目を向けて行かなければなりません。そのために、今年度中に訪問看護ステーションを立ち上げることを



目標に、地域の中でも一定の役割を恵の聖母の家が担えるように支援して行きたいと考えています。

二〇一六年四月十四日の熊本地震は私たちの暮らしに大きな痕跡を残しました。現在も避難生活を余儀なくされている方達はたくさんいらっしゃいます。他人事ではなく、私自身、防災グッズの準備、車中泊などを経験し、地震の怖さを痛感しました。東日本大震災以降、当施設でも防災についてマニュアルを整備中です。災害が起きても何とか施設の中で暮らしていけるように取り組んでいきたいと考えています。

何かと課題の多い中ではありますが、利用者のために、そして地域で暮らす皆さまのために、微力ではありますが精一杯努力して参りたいと思います。



看護課



新米師長を

よろしくお願ひします

ひかりの大地 看護師長 河辺 慶太

今年度からひかりの大地の看護師長になりました。今年で当施設勤務十三年目。趣味はゴルフで、職場で数名ながらもゴルフ部を作り、時々ゴルフに行っています。スコアは内緒ですが、自称恵ナンバーワンを名乗っています（ほんとに上手い方すみません）。コースに出ていると上手いこといえないことばかりですが、スコアが良くても悪くても大自然のなかで過ごす時間はとても良いものです。

話を戻しまして、最初は「師長」と呼ばれることに照れを感じていましたが、その反面、師長としての責任の大きさも感じています。そして、今までと全然違う仕事に戸惑いながら毎日を送っています。

師長室にいるとよく外（病棟）から利用者の笑い声や職員の楽しそうな声が聞こえます。今まで利用者の近くにいることが当たり前だったので、とてもさみしい気分になります。利用者の近くで働ける職員をうらやましくも思います。「自分の仕事を止めて、みんなのもとに飛び込んでいきたい」、そんな衝動によく駆られます。それでも無性にさみしくなった時は利用者のごとくよく行きます。そして利用者を見せる笑顔に元気をもらい、再び師長室に戻ります。

当施設の今年の目標は「共生」相手を丸ごと尊重するです。それを受けて、ひかりの大地では「利用者と家族、そして職



員のみんなが笑顔になれる病棟作り」をスローガンとして掲げました。相手をもっとと尊重し合うことがお互いを高め、人が育つ病棟、人を育てることのできる病棟になるのではないかと考えています。職員の成長が、利用者の安全で安心した楽しい生活に繋がります。職員全員で協力することで、少しでも少しずつでもみんなが笑顔になれる病棟に近づきたいと思います。そのためにもご家族をはじめ、皆様方のご意見を頂ければ幸いです。見かけた際は、いつでも気軽に声をかけて下さい。

これからも入所児者のご家族とのつながりを大事にし、医療や福祉を必要としている在宅の方々、そして職員、恵の聖母の家のために精一杯頑張っていきたいと思えますので新米師長に今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ致します。

生活福祉課



気持ちを新たに

課長 林 直見

保護者の方から、「病棟に戻ってきたんですね。安心しました」と声をかけていただきました。生活福祉課課長として、肩の荷が重く感じていましたが私にとつて、なんとも言えない嬉しさとこれからの励みになりました。今までの自分の言動など反省し、これから職員、保護者間の信頼と協力をベースとしながら、利用者に最善のサービスを提供出来るよう向上心を持ち続けたいと思います。恵の聖母の家の基本理念を振り返りながら心機一転して努力していきますので宜しくお願ひします。

「信頼」は言葉ではなく行動の積み重ねの中からしか生まれません。

そして、行動は心の持ち方ひとつで百八度変わります。

（最近読んだ本の言葉）

今年の療育部はフレッシュな新人の介護福祉士を迎え、数名の職員移動の中療育部がスタートしました。

今年度の各部署の目標は「覧の通り」です。

◆生活福祉課

（あゆみの広場・のぞみの丘）

○利用児（者）の重度化に伴う医療的ニーズに対応し、専門性を活かしたチームアプローチを行うとともに、生活の質の向上を目指して個々のストレンギ

スに着目した支援を行います。  
（ひかりの大地）  
○利用者一人ひとりのプライバシーと自主性を尊重し、個々の持つストレンギスに着目することで、充実した生活が送れるよう他課と連携を図り支援します。

◆児童発達支援センターめぐみ  
○利用者、ご家族が安心して過ごせる「場」を提供します。

○利用児・者が、支援者や友達と交流し、生活や活動を楽しみ、輝けるように支援します。

◆相談支援事業所こころ

○コミュニケーションスキルの向上  
○ストレンギケアセサメントの構築

今年度施設目標である「共生」（丸ごと相手を尊重する）を念頭に置き、療育部は各部署との相互理解、信頼関係の向上を目指しながら、それぞれの目標が達成できるよう、スタッフ一同努力していきたいと思

います。  
今年度は申年ですね。見ざる・聞かざる・言わざる」と言いますが、私の場合は「見て・聴いて・言います」です！



2016年2月14日(日)

第19回 大分重症心身障がい児者施設連絡会  
第7回 研究発表会

今回は大分大学医学部を会場として研究発表会が行われました。「重症児療育」「重症児医療」「重症児療育・生活」「在宅支援」について11演題の研究発表となりました。発表後は活発な質疑応答が交わされ、各研究に関する関心の高さがうかがえました。

2016年2月3日(水) 節分行事

午前中はあゆみの広場とひかりの大地で、午後のはぞみの丘で行いました。節分のいわれや歌、そして豆まきを行い、その後は甘納豆と栗しぐれをいただきました。鬼を怖がる方には過剰な演出とならないように注意しましたが、逆に「退治するぞ!」と張り切っている方もいて、元気に春を迎えられるように皆で鬼を退治しました。



2016年3月3日(木) ひなまつり行事

入所者と職員が着物を着て、一緒に写真を撮ったりしながらこれからの健康を願いました。どの入所者も着物姿を楽しんで、雛あられや栗しぐれも美味しくいただきました。

2016年3月5日(土)

第38回九州地区重症心身障害研究会

佐賀県佐賀市で行われ、当施設看護課発表の『受診までの動向と事例を通して気づいた関わり』の演題が、そのセッション中の優秀演題に選出されました。これからの支援の励みになります。ありがとうございました。



2016年3月27日(日)

復活祭ゴミサ

今回は新しくなったお聖堂で行いました。神父さまから「綺麗な心を持つこと」「人を思いやる大切さ」のお話をいただきました。



2016年4月14日(木)

支援学校訪問教室入学式

恵の聖母の家で訪問教育を受ける生徒さんの入学式があゆみの広場で行われました。校長先生からは「新入生を迎えられる喜び」や「学校生活の楽しさ」、そしてお祝いの言葉をいただきました。恵の聖母の家からは「保育や療育の生活から教育が入る生活になる」「友だちと学ぶことの楽しさ」「楽しい学校生活になるように今後も学校と連携をとっていき」とのお話がありました。元気に出席しているんなことを学びましょう。

※入学式の様子は表紙をご覧ください。

2016年度入所施設活動予定

月	日	内 容
4	上旬	お花見
	7 木	施設外療育 臼杵公園
	28 木	施設外療育 道の駅きよかわ
5	8 日	ルルド祭
	12 木	施設外療育 臼杵石仏
	19 木	施設外療育 佐野植物公園
	26 木	施設外療育 リバーパーク犬飼
6	11 土	ふれあい運動会
	23 木	施設外療育 臼杵しまむら
	30 木	施設外療育 わさだタウン
7	7 木	施設外療育 臼杵マルショク
	23 土	夏のボランティア公演 他、夏の集い等
8	15 月	聖母被昇天祭・ご利用者追悼ミサ
	10 土	家族の日・ファミリーフェスティバル
9	15 木	施設外療育 明野アクロス
	29 木	施設内活動
10	13 木	施設外療育 臼杵マルショク
	18 火	施設内活動 木 施設外療育 【予備日】
11	13 日	ボランティア公演
	10 土	クリスマスの集い
	15 木	餅つき 他、サンタプレゼント クリスマスミサ
2017年		
1	1 日	お正月行事
2	3 金	節分行事
3	3 金	ひなまつり行事

※予定変更の場合があります。

◆全体研修

恵の聖母の家では、職員を対象に月に1回、全体研修を行っています。2月から4月は下記の内容で行いました。今後も利用者の安心・安全のために質の向上を図っていきたいと思います。

日程	内 容	担当
2/18	ポジショニング	PT
3/24	薬の基本とヒヤリはっと事例	薬剤師
4/27	一次救命処置(Basic Life Support)	BLS委員会

2016年度児童発達支援センターめぐみ活動予定

月	内 容	内 容
4	春を感じよう! 散策・戸外活動	お花見 桜 潔き聖母の家
	母の日の準備	写真立制作
5	母の日	写真立贈呈
	戸外活動	ゴルフ等
	散策	藤のお花見 ルルドの丘
	父の日準備	カード制作
6	行事準備	競技道具作成 ・競技練習
	父の日	カード贈呈
	スポーツレク レクダンス	ターゲットボール他 準備中です(*'ω'*)
7	施設行事参加	ふれあい運動会(11日)
	夏を感じよう! 七夕	飾り作り 飾り付け
8	感覚遊び	キネティック・サンド等
	リフレッシュ活動	映画鑑賞・スヌーズレン等
	人権月間 ボランティア公演	ビデオ等 準備中です(*'ω'*)
9	活動 スポーツレク	ボッチャ・ボウリング他
	行事準備	家族の日ファミリーフェ スティバル・作品展示
10	秋を感じよう! 散歩	ルルドの丘
	秋祭り(ご家族と) レクダンス	ハロウィンパーティ 準備中です(*'ω'*)
	勤労感謝に向けて クリスマス準備	カード作り DVD鑑賞等
12	冬を感じよう! 施設行事参加	クリスマスの集い(10日) 餅つき
	お正月準備	年賀状書き
2017年		
1	お正月行事・スポーツレク・節分準備	
2	節分行事・ひなまつり準備・レクリエーション	
3	ひなまつり行事・レクリエーション	

※予定変更の場合があります。

2016年3月31日(木)

季節を感じる一吉四六ランドー 参加者5名

到着後、吉四六さんの銅像の前で記念写真を撮りました。今回のレクリエーションはウォークラリーで、池の周囲に隠されているガチャ容器を探し出して中に入っているクイズに答えていく「宝探し」を行いました。天候も良く、ご家族と一緒に話しながらの散策では他の方と挨拶を交わす方、お茶を楽しむ方、池の鯉の餌あげに笑顔みせる方、周囲をみて気持ち良さそうな表情を見せる方等、皆さん、気持ち良く過ごすことができました。



2016年4月7日(木)

買い物—マルショク臼杵店— 参加者5名

計画では臼杵公園でしたが、雨天のため買い物に変更しました。お店では皆で記念写真を撮って、それから買い物をしました。普段は周囲を気にする方も店内では落ち着いて過ごすことができ、支援者が手を握ると笑顔を見せる方、2種類の服を示されてそれぞれに目を向けて興味を示した方、店内の音に笑顔を見せた方、商品に手を伸ばして触ろうとする等、皆、関心が高く、日用品(トリートメント)や食べ物等、買い物を楽しむことができました。



2016年4月28日(木)

道の駅きよかわ 参加者6名

雨模様で天候が心配でしたが、保温等に配慮し、無事に活動を行うことができました。現地では神楽の像の前で記念写真を撮りました。移動中の車内で笑顔をよく見せて、ドライブを楽しんでいた方、ご家族と一緒に買い物やいちごプリンを味わった方、店内の雰囲気笑顔を見せた方、屋外の散策や購入したお人形に笑顔を見せた方等、皆、リフレッシュすることができました。





▼各部署の声です。今年度の目標は「[共生] 相手を丸ごと尊重する」

児童発達  
支援センター  
めぐみ

輝きを大切に

児童発達支援管理責任者 丸山 久幸

児童発達支援センターめぐみです。二〇一六年度の春は、桜の花が開花したかと思ったら、「あつ」と言う間に散ってしまった気がします。

三月から四月は支援学校が春休みというところもあって、センターも放課後等デイのお友達と生活介護の方にご利用いただき、連日十名を超し、にぎやかに過ごしました。

この春休み期間中は、室内での活動が中心で、「ターゲットゲーム」や「ボッチャ」のスポーツレクを行ったり、ディズニー「インサイドヘッド」「怪物くん」のDVD映画を鑑賞して過ごしました。

学校が始まる頃には、桜も風に舞い散り始めて、中旬頃は藤の花が咲き、センターの利用者も「ルルドの丘」へ出かけて、春の風の花見を行いました。散策だけでなく、他にカラオケ好きな利用者もいて、曲に合わせて声を出し楽しみました。声を出すと心肺機能も上がり、気分も「スカッ」としますね。カラオケでは観覧する友だちや支援者も手拍子や声援を送り、楽しい雰囲気の中で過ごすことができました。

さて五月というと「母の日」です。四月下旬より「母の日」に向けて、今年は写真たてのフ



レームに花やビーズの装飾を着けたり、指でペイントをしたりして、利用者一人ひとりの手を用いた、オリジナルのプレゼントを作りました。ご家族に贈呈すると好評で、早速、写真やメッセージカードを入れてお家で飾って頂いている様です。続く六月は「父の日」ですね。はて、どうしようか？お楽しみに…。

もう一つ、五月はマリア様の月ですね。「ルルド祭」でお捧げするカードを放課後等デイサービスのお友だちが今年ルルド祭に向けて「天使と花輪」(徳の花)を描いてくれました。絵はセンターに掲示していますので、お越しの際にはぜひご覧ください。

そして今、センターでは「運動会」への準備や練習が始まりました。今年は、魚釣りの競技を検討中です。どんな競技になるか、お楽しみに。

今後の活動も、夏休みには「ボランティアの方との交流会」を企画し、利用者一人ひとりが自分なりの楽しみ方で支援者(友だち同士)との触れ合いや気持ちを表す「輝き」を大切に支援して行きたいと、思います。

外来  
保育



外来保育士として

外来保育士 長野 祐子

私は今年の三月までの十七年間を病棟の保育士として勤務してきました。病棟の保育士は入所されている方の生活の支援、発達の支援、季節を伝える行事等を行っています。入所者が安心、安全な生活を送れるような環境を整えることや、特性や個性を理解し、興味のあることを引き出し、個々が楽しめるように寄り添いながら支援をしてきました。

保育士として一番大切にしてきたことは、利用者、ご家族の方とコミュニケーションを図り、信頼関係を築いてきたことです。これからは外来ですが、同じように、今までの経験を活かして保育に携わっていきたいと思います。

外来保育では、お子さまに合った楽しい遊びを提供し、遊びの中で、子どもがどんなことに興味を持ち、どの部分に楽しさを感じているのかを知り、個々が必要とする経験を保育士とのやり取りの中で慣れていってまいります。遊びを通し



て色々な経験を積み重ねていくことで、表情が豊かになったり、自分の思いを表現できたり、人と関わる喜びを味わえるようになります。

それぞれの成長の速さに合わせ、一対一でゆっくり関わっていきたくと思っています。外来で子供たちと遊び笑顔を見せてくれることがとても嬉しいです。これからもご家族の相談を聴き入れながら、お子さまの健やかな成長のサポートをしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



## 検査課



### 大分を知り 好きになろう

検査技師 茂田 実

温暖な気候、山や海が近くにあり、風光明媚なおんせん県おいた。食べ物、山の幸、海の幸が手軽に手に入り、生活しやすい大分県。日本一はどんな物があるのだろうかと思ひ、調べてみた。

- ① 温泉源泉水 (H25) 四四一ヶ所
- ② 温泉湧出量 (H25) 毎分二八六kl
- ③ 日本最大の地熱発電所がある。筋湯近くの八丁原発電所は日本最大。
- ④ 石灰石生産量 (H25) 二六、八〇〇千トン セメント、鉄鋼、肥料の原料や土壌改良に使われる。
- ⑤ 真竹竹材生産量 (H25) 四九千束 竹細工の原料 最近、竹で車イスを作り話題になる。
- ⑥ 乾しシイタケ生産量 (H25) 一五九九トン シイタケ菌に適した場所がたくさんある。
- ⑦ カボス生産量 (H25) 五八八三トン 果汁を焼き魚、鍋物に使う。
- ⑧ サフラン生産量(花芯部分) (H25) 二二、二kg メシバを乾燥させ、パエリアやリゾットの香辛料になる。
- ⑨ ホオズキ出荷本数 (H25) 一〇九〇千本
- ⑩ 文化財 (H25) 七三三件 臼杵石仏を代表に多くの磨崖仏や石橋、石像がある。
- ⑪ 道路トンネル数 (H25) 五六二本 山が多く尾根に区切られていて、リアス式海岸もあり、自然が豊かで地形が複雑なのでトンネルが多い。

- ⑫ 鶏肉消費量 県内にカラアゲ、トリ天、トリ飯などの店が多い。
- ⑬ タチウオの漁獲量、ヒラメの養殖収穫量も日本一
- ⑭ 九重夢大吊橋 歩道吊り橋として長さ三九〇mも高さ一七三mも日本一
- ⑮ 醸造用木樽 直径九m、高さ九m、容量五四〇klはギネスに認定された。
- ⑯ 購入額 チョコレート菓子、スナック菓子、プリン共に日本一買っている。

簡単に調べてみて私の知らない事がかなりあった。まだまだ日本一はあると思うが今回はこれくらいにしておきます。

私の好きな別府温泉は、鉄輪、別府、明礬、亀川、柴石、観海寺、堀田、浜脇で、これを八湯と言ひ、源泉数二二七ヶ所、温泉湧出量 毎分八三〇五八lで共に日本一。泉質の異なる十種類が湧く、他の温泉地にはない泉質と風情に出会うことができる。私をよく行く温泉は亀川の筋湯で、入湯料はお賽銭でOK。熱くても薄める水道がないため、夏場は厳しいものの、湯は源泉のままなのがうれしい。

最後に、大分県内の風景(石の文化財)やおいしい物、温泉などを求めて皆さまもゆつくりドライブしてみたいかがでしょうか? 気持ちよきとホッコリすると思ひます。

## 訓練課



### 春になって思う事

言語聴覚士 山部 知宏

四月になって、戸次や吉野を通勤で通っていると、道端で「いたどり」という植物が誰にも採られる事無くスワスクと伸びている様子をよく目にします。

この「いたどり」というフキのような植物は、まだアツが少ない頃には一応生でも食べられるのですが、皮をむいて炊くと独特のプチプチとした食感を持った食材になり、とてもおいしく食べられます。ですから、ぼくの生まれた高知県では食材の一つとして販売されていますし、家庭によつては春になると大量に採取した物を冷凍などで保存して、小出しに料理に利用したりします。そのため、春に生えているのを見つけるとみんな採ってしまうので、大分県のように春が終わる頃に木のように立派になるまで成長した姿を見る機会はほとんどありません。

同じように、大分県ではあまり食べられないけれど高知県では夏の風物詩的な植物に「りゅうきゅう」があります。大分県民は「りゅうきゅう」といえば、ほぼ全員が生魚を甘いしょうゆで味付けした大分の郷土料理を思い浮かべると思いますが、高知県民はまるでスポンジのように穴の開いた、緑のハス芋(青ズイキ)の事を思い浮かべます。

食べ方は皮をむいて塩で水抜きをして、

軽く湯通しして絞り、酢の物として食べる事がほとんどで、一緒にゴマ、ワカメ、金糸卵やかまぼこなどといったお好みの食材を混ぜて甘めのお酢で味付けて食べると、独特のシャキシャキとした歯ごたえと味わいがクセになり大変美味です。

「いたどりは」はまだ大分県で販売されている所は見つかりませんが、「りゅうきゅう(青ズイキ)」の方は夏頃になると直販所などのすみのほうで見かける事がありません。

まだ食べた事が無いようでしたら、大分県民のソウルフードの方ではない、高知県の夏の風物詩の「りゅうきゅう」も是非一度味わってみてください。酢の物が好きな方なら、きっとそのおいしさに驚く事間違いなしですよ。





## 保護者の皆様から



### 我が子を通して知ったこと

私は二人の子を持つ母親です。長男は小学生で次男は4歳です。長男は次男がおもちゃをとったり壊したりしても「だめぞー」とは言うものの、次男を叩いたりはしません。優しさというよりは、弟が生まれるまで一人だったので、どうしようか迷っている感じです。元気のいい次男は、今、恵の聖母の家の訓練に通っています。

次男は2歳になった頃、なかなかしゃべらないのでご近所に相談すると、「いつか話すようになるわー」と言ってもらえましたが、近くに住んでいる次男と同じくらいのお子さんの成長が気になったりもして、当時は自分自身、子どもが話さないことを認めたくない気持ちが強かったのだと思います。家の中では家族とやりとりもできているし、「長男も普通に育てられている」「自分の子に限って」といった気持ちが心の中にあっただのだと思います。

3歳前に友だちでもある市の保健師から健診の話があって、そこで次男をみてもらうことになりました。そこで発達に遅れがあり、「療育が必要ですね」と言われました。他の人から言われて「やはりか」と思ったことを覚えています。恵の聖母の家に予

約の電話を入れると、外来看護師さんが「よく電話をしてくれましたね」と声をかけてくれて、本当にほっとしました。予約も多いと聴き、他にも同じような子どもが多いことを知りました。

訓練がどういうものかは恵の聖母の家を知っている友だちから聴いていました。次男は現在、作業療法士と言語聴覚士の訓練を受けています。父親も理解があって、診察や訓練に協力してくれます。課題をこなす形の訓練も機関によってはあるそうですが、恵の聖母の家は「遊びを通して成長を働きかける」感じで、好きなことをさせてもらっています。本人も遊びに来ている感じですが、訓練を終えて帰る時もルンルン気分で、「明日も(訓練の先生のところに)行く」と楽しみにしています。本人は遊びに行っている感じですが、成長も見られ始めました。6月に訓練を始めたのですが、9月頃には単語が口から出だして、次に2語文、3語文が出て、会話のキャッチボールもできるようになり、とてもビックリしました。本人は好きなことをしているだけで言葉が出ることに本当にビックリです。ありがたいと感じています。私自身もこういった療育の場があることを我が子を通して知り、とても良かったと思っています。家では遊び相手が祖父母だったり、本人の言葉が出るよりも先に手伝ってしまっていたことが影響したかな、と反省したりもしています。

訓練を受けようかどうしようか迷っている方がいたら、まず親が子どもを認めることが大事になるかな、と思います。相談を受けたら、恵の聖母の家を教えたいと思います。今、次男はルールや順番を守ることに取り組んでいます。親としては今まで通りに育ててくれたら…そう願っています。

(保護者より)

## 支援学校訪問教室



### ごあいさつ

臼杵支援学校 校長 友成 洋

本年度から、臼杵支援学校の校長となりました友成です。よろしく申し上げます。

現在、本校では、恵の聖母の家に訪問させていただいて、小学部1年生2名、2年生1名の計3名の子どもたちに対して、訪問教育を行っています。

今年度は、2年目の藤井克彦先生に加え、新たに、河野悦子先生が担任となり、2名体制で指導・支援を行ってまいります。今後ともよろしくお願い致します。

4月12日に始業式を、4月14日には数年ぶりとなる入学式を行いました。私自身、恵の聖母の家には、十数年前に、PTAの施設見学として一度訪問させていただいたことがあります。その時の記憶を頼りに、様々な思いを抱きながら式に臨みました。

当初、少人数の式なのかなと思っていましたが、訪れて見ると、進級した友だちや新入生を祝うために、多くの先輩・後輩の皆さん、看護師さんをはじめとする様々なサポーターの皆さんに集まっていただき、とても賑やかな式となりました。特に、入学

式は、園長の佐藤圭右先生をはじめ、たくさんの職員の方々のご臨席をいただき、楽しい中にも厳粛な雰囲気を持った式を挙行することができました。ありがとうございました。

さて、この2日間を通して、まず実感したのは、日頃から、3人の子どもたちは、職員の皆様を始め周囲の人から、様々な愛情とサポートとうけながら生活していることです。職員の皆様の対応を見て、非常に感激を受けました。また、その一方、この3人の子どもさんの指導・支援をこの一年間どのように進めていくべきなのかを私自身も考えさせられました。毎週、担任が、写真付きの訪問教育実施報告書を提出してくれるのですが、それを見ながら、「スライム、ころころチャイム、どんな活動は楽しいのかな?カレンダー作りは?絵本は?」など、思いを巡らせています。子ども一人一人は、学ぶことも学び方も異なります。

私たちは、保護者や本人の思いにこたえるべく、深い愛情と熱意をもって教育にあたっていくのはもちろんのことですが、さらに、子ども一人一人の現在の状況を的確に把握し、子ども達が内面に蓄積している力をその子どもに応じて可能な限り引き出せるように指導・支援にあたっていくことが必要であると感じています。

教員が支援できることは限られてはいますが、医療・療育の専門家である職員の皆様、そして、子どもの一番の理解者である保護者の皆様方に協力を受けながら、子どもたちの一日一日を大切にして、指導にあたっていきたいと思っております。

今後とも、ご協力よろしくお願い致します。

# ★ぴかぴかぴかぴかぴかぴか★

新しく入られたスタッフをご紹介します。① お名前 ② 職種 ③ お住まい ④ 趣味 ⑤ 一言



①成安誠 (なりやす まこと)  
②介護福祉士 ③大分市  
④剣道に和太鼓、プラモデル作りを趣味としています。プラモデルはガンプラを改造して楽しんでいます。  
⑤高校を卒業したてで、経験も技術もまだまだ未熟者ですが、利用者さん一人ひとりのために頑張っていきたいと思いますので、これからもよろしくお願いします。



①後藤崇弘人 (ごとう たかひと)  
②事務職員 ③大分市  
④ゲームや音楽鑑賞、動画鑑賞が好きです。ゲーム機はプレステ4やPSP、DS、3DS等を持っています。ゲームの方はドラクエ等が好きです。音楽はTMRボリューションが好きです。動画はユーチューバー物を楽しんで見えています。  
⑤早く他部署の支援ができるようになりたいです。



①堀馨介 (ほり けいすけ)  
②理学療法士 ③竹田市  
④食べることとクライミング (ボルタリング) です。最近食べたものでは宮崎県の『おぐら』のチキン南蛮が美味しかったです。ボルタリングの方は週1回、楽しんでやっています。  
⑤社会人として自覚を持ち、貪欲に頑張ります。



①森永茉美 (もりなが まみ)  
②理学療法士 ③臼杵市  
④バスケットボール、音楽鑑賞、そして寝ることです。小学校から高校までの7年間やっていたバスケットボールが好きです。  
⑤体は小さいですが、社会人としても理学療法士としても大きく成長していけるように一所懸命頑張っていきたいと思います。皆さんと楽しく訓練してけるように頑張りますので、よろしくお願いします。



①高橋美里 (たかはし みさと)  
②言語聴覚士 ③豊後大野市  
④人目を気にしなくていい一人カラオケが好きです。ドリカムの昔の歌『何度でも』等が好きです。  
⑤“人との関わり”を大切にしながら仕事をしたいです。何かとご迷惑をおかけするとは思いますが、どうぞよろしくお願いします。

## ◆お知らせ 直通の電話番号ができました!

連絡先	電話番号
発達外来	0974-32-7778
訪問看護あんな地域連携室	0974-32-7667
相談支援事業所こころ	0974-32-7788
児童発達支援センターめぐみ	0974-32-7784

どうぞご利用下さい☆

## 人事

### ▼新規採用

二〇一六年 三月三十一日付

堀 馨介 理学療法士  
森永 茉美 理学療法士  
高橋 美里 言語聴覚士  
成安 誠 介護福祉士  
後藤 崇弘人 事務職員

### ▼退職

二〇一六年 三月三十一日付

デイサービス 山田 邦文  
介護福祉士 甲斐 浩二  
保育士 高橋 文子

四月十四日付  
看護師 甲斐 容子

### ▼再雇用

児童発達支援センターめぐみ  
介護福祉士 甲斐 浩二  
保育士 高橋 文子

### ▼人事異動

二〇一六年 四月一日付

昇格  
副施設長 牧山美鶴江  
総看護師長 藤井 智恵  
ひかりの大地看護師長  
生活福祉課長 河辺 慶太  
看護主任 林 直見  
異動 赤嶺 嘉洋  
のぞみの丘 加藤 昭子  
保育士

## 感謝

## ご寄附

二〇一五年度は次の皆さまからご寄附をいただきました。感謝申し上げます。

恵の聖母の家めぐみ会さま・株式会社そりりんさま・熊野公子さま・甲斐治美さま・聖母の騎士修道女会さま・臼杵市社会福祉協議会さま・大分県共同募金会さま・大分県信用組合さま・匿名希望さま(順不同)

## ボランティアの皆さま

二〇一五年度もたくさんの方のボランティアの方に協力いただきました。厚くお礼を申し上げますとともに、これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。(順不同)

野津中学校の皆さま・藤華医療技術専門学校  
の皆さま  
・別府大学 別府短期大学部(初等教育科)の皆さま  
・臼杵市社会福祉協議会の皆さま  
・傾聴ボランティアの皆さま・御獄流奥畑神楽の皆さま  
・臼杵市お達者長生きボランティア制度の皆さま  
・臼杵ウインドアンサンブルの皆さま・個人で来て下さる皆さま・小田佳代子さま  
(ボランティア公演)  
人形劇研究会、劇団マープル”の皆さま  
椋の実少年少女合唱団の皆さま

# 行事予定

※青色…施設外療育 ◎…ケースカンファレンス ㊦…個別面談  
㊥…権利擁護・虐待防止部会 ㊤…全体朝礼 ㊧…労働安全衛生委員会  
㊩…リスクマネジメント部会 ㊨…入浴日

6月			7月			8月			9月		
1	水	㊥ ㊨	1	金	㊧ ㊨	1	月	㊨	1	木	
2	木	運動会総練習	2	土		2	火	㊤	2	金	㊧ ㊨
3	金	㊧ ㊨	3	日		3	水	㊥ ㊨	3	土	
4	土		4	月	㊨	4	木		4	日	
5	日		5	火	㊤	5	金	㊧ ㊨	5	月	㊨
6	月	㊨	6	水	㊥ ㊨	6	土		6	火	㊤ ◎
7	火	㊤	7	木	臼杵マルシヨク	7	日		7	水	㊥ ㊨
8	水	㊨	8	金	㊨	8	月	㊨	8	木	
9	木		9	土		9	火	◎	9	金	㊨
10	金	㊨	10	日		10	水	㊨	10	土	家族の日
11	土	ふれあい運動会	11	月	㊨	11	木		11	日	
12	日		12	火	◎	12	金	㊨	12	月	㊨
13	月	㊨	13	水	㊨	13	土		13	火	◎
14	火	◎	14	木		14	日		14	水	㊨
15	水	㊨	15	金		15	月	聖母被昇天ごミサ ㊨	15	木	明野アクロス ㊩
16	木	㊩	16	土		16	火	◎	16	金	㊨
17	金	㊨	17	日		17	水	㊨	17	土	
18	土		18	月	㊨	18	木	㊩	18	日	
19	日		19	火	◎	19	金	㊨	19	月	㊨
20	月	㊨	20	水	㊨	20	土		20	火	◎
21	火	◎	21	木	㊩	21	日		21	水	㊨
22	水	㊨	22	金	㊨	22	月	㊨	22	木	
23	木	臼杵しまむら	23	土	ボランティア公演	23	火	◎ ㊦	23	金	㊨
24	金	㊨	24	日		24	水	㊨	24	土	
25	土		25	月	㊨	25	木		25	日	
26	日		26	火	◎ ㊦	26	金	㊨	26	月	㊨
27	月	㊨	27	水	㊨	27	土		27	火	◎ ㊦
28	火	◎ ㊦	28	木		28	日		28	水	㊨
29	水	㊨	29	金	㊨	29	月	㊨	29	木	施設内活動
30	木	わさだタウン	30	土		30	火	◎	30	金	㊨
			31	日		31	水	㊨			

※予定変更の場合があります。

※関係者の同意のもと、写真を掲載しております。

## 編集後記

4月の大分、熊本における大地震で被災された方々に深くお見舞い申し上げます。被害の大小に関わらず、一人ひとりに厚い支援が届きますように祈念致します。まだまだ新年度は始まったばかりです。良き年となりますように願うばかりです。(S・M)